

武里南地区公民館・武里大枝公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の拠点施設のひとつとして、市民の学習要求に応える事業及び情報の提供を行う。

◇重点施策

- 1 きめ細やかな学習の場と情報を提供する。
- 2 青少年の健全育成の場を設ける。
- 3 地域住民の健康増進と住民相互の交流を図る。

◇重点事業

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 子育てふれあいサロン | 2 武里団地地区体育祭 |
| 3 青少年健全育成事業 | 4 音楽鑑賞会 |

武里南地区公民館

所在地 〒344-0023 春日部市大枝89番地武里団地7街区5棟

TEL 048-736-8104

E-mail takenankou@city.kasukabe.lg.jp



武里大枝公民館

所在地 〒344-0023 春日部市大枝89番地武里団地2街区1棟

武里大枝市民センター内

TEL・FAX 048-737-8022

E-mail ohedakou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長(兼務)	関口信義	主査(兼務)	松田あかね
	主任(兼務)	檜原晃夫	主任(兼務)	坪井大貴
	主任(兼務)	原田瞬	(社会教育主事)	
	フルタイム(兼務)	金子喜久江	フルタイム(兼務)	清和秀樹
	フルタイム(兼務)	宮本望		

武里南地区 1

事業名 テーマ	サークル発表会 ①展示部門 ②舞台部門		対象	一般	定員	発表団体により異なる	
ねらい	公民館で活動しているサークルの成果発表の機会を提供することで、サークルの文化活動及び社会教育活動を支援するとともに、地域に対し活発な公民館活動をPRすることを目的として実施する。						
協力機関及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11・17		
会場	武里大枝公民館 武里南地区公民館		教材 資料等	プログラムなど			
実施までの経過	武里大枝公民館・武里南地区公民館にて募集要項を配架・常時募集 開催依頼書の提出 内容及び開催日程の調整 実施日までに詳細を打合せ 実施		PR方法	公民館だより ブログ 必要に応じてポスターを掲示			
			受付方法	発表団体により異なる			
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
①展示部門			展示 展示 展示				
6月18日(火)～7月2日(火)	折り紙					158	くす玉の会
7月13日(土)～7月27日(土)	写真					120	写真同好会武里
2月8日(土)～2月22日(土)	写真			115	写真同好会武里		
②舞台部門							
7月7日(日)	13:30～14:30	ウクレレ鑑賞会	鑑賞	8	39	47	ウクレレ・ヴィレッジ
7月21日(日)	13:30～15:00	ウクレレコンサート	鑑賞	12	30	42	タートルズ
11月16日(土)	14:00～15:30	ワークショップとダンス発表	体験	7	17	24	シニアバレエ
11月19日(火)	10:00～12:00	気功でいつまでも元気に	体験	2	6	8	導引養生功ステップbyステップ
12月6日(金)	11:00～12:30	クリスマスコンサート(合唱)	鑑賞	5	35	40	コール・アネモネ
8回	—			34	127	554	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭に代わる発表の場を提供することで、サークル活動を活性化させるほか、地域住民に様々な活動を周知、出会いの機会を創出した。 ・各団体に参加を積極的に呼びかけ、自主的運営を支援することで団体の自主性と個性を生かすよう務めた。 ・当日のプログラムや展示に関する掲示は公民館が作成し、ある程度統一され見やすい紙面作りとなるよう工夫した。 						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> ・すばらしい写真で目の保養になりました。女性(カメラマン)も増えたらと思うと楽しみです。【写真同好会武里】 ・作品の数が多くてビックリ。胡蝶蘭が特に素晴らしい。見事です。【くす玉の会】 ・一緒に歌える曲ばかりで、楽しかったです。【ウクレレ・ヴィレッジ】 ・少しの間でも暑さを忘れて大変幸せでした。【タートルズ】 ・先生の最後の踊りには先日亡くなった友を思い出し感激しました。【シニアバレエ】 ・またこのような講座があったら参加したい。【導引養生功ステップbyステップ】 ・コーラスが素晴らしかった。日頃の練習成果だと思います。【コール・アネモネ】 						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・恒例となっている団体がある反面、未発表の団体もあり、多様なジャンルの団体が発表できるよう、公民館の協力体制を強化するなどし、積極的な参加を促したい。 ・一方で参加団体の自主性を損なわず、より充実した発表となるよう支援していきたい。 						

事業名 テーマ	音楽鑑賞会		対象	一般	定員	出演者により異なる	
ねらい	武里団地、その他周辺地域の住民を対象として、音楽を通じて心と身体 の健康促進の一環として実施する。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11・17	
会場	武里大枝公民館 武里南地区公民館		教材 資料等	プログラム			
実施ま での経 過	各事業とも実施までに、出演者折衝、打 合せ、広報を行う		PR方法	公民館だより ポスター・チラシ ブログ			
			受付方法	直接または電話で会場となる公民 館へ(先着順)			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月18日(木)	13:00~14:30	①春風と共に歌おう	鑑賞	4	42	46	ないすはつつ
9月15日(日)	13:30~15:00	②クラシックアンサンブルコンサート	鑑賞	19	101	120	アンサンブルリール
11月16日(土)	14:00~15:30	③武里南 秋のコンサート	鑑賞	9	41	50	父ちゃんバンド
12月14日(土)	13:30~15:00	④武里南 冬のコンサート	鑑賞	11	31	42	なちゅ☆らる
1月5日(日)	14:00~15:00	⑤New Year Concert	鑑賞	13	104	117	春日部TearsWipeTears
5回	7時間			56	319	375	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏、歌(ゴスペル)、参加者と共に歌う企画など多種多様な手法を用い、地域住民に上質な音楽を届けられるよう工夫した。 ・時節を捉え、四季の移り変わりを音楽を通じて表現することで、地域の一体感を創出し、地域の連帯力の向上を目指した。 						
成果 参加者の 声など	<ul style="list-style-type: none"> ①「一人暮らしで声を出す機会が少ないので、有難い企画でした」 ②「楽器や曲の紹介がよかった。生演奏は最高です」 ③「オリジナル曲を聴いて涙が出そうになった。とても感動した」 ④「昭和歌謡や演歌で、一緒に歌うことが出来て楽しかった」 ⑤「全員の歌唱力の高さにビックリしました」 						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、新規事業としてゴスペルを取り入れた。聞き慣れない洋曲に戸惑いの声もあったが、今後も新たなジャンルや出演者の模索を続けていく。 ・一方で、例年実施しているコンサートでも、「また来年もお願いします」といった声必ず聞かれるため、継続的な実施もあわせて検討する。 						
							

武里南地区 3

事業名 テーマ	子育てふれあいサロン		対象	乳幼児と保護者	定員	開催月により異なる	
ねらい	子育てに関する考え、悩みを持つ保護者の交流と情報交換の場を提供し、子育ての負担感の軽減を図るとともに、乳幼児期の育児についての学習とお通して、子育て力の向上、地域の子育て支援機能の拡充を図る。						
協力機関及び団体	武里団地地区民生委員・児童委員協議会 春日部市更生保護女性会武里団地地区 子育て応援団 ゆめ色	特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No	3・11・17		
会場	武里南地区公民館	教材 資料等	その都度用意				
実施までの経過	令和5年12月民生委員・児童委員協議会、子育て応援団ゆめ色へ協力依頼以降、毎月の開催までに講師折衝、打合せ、広報を行う	PR方法	公民館だより SNS等(LINE・メール・ブログ)				
		受付方法	9・10・12月は武里大枝公民館へ直接または電話で(先着順) それ以外は申込み不要				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
5月15日(水)	10:00～11:30	自由遊び	交流	2	10	12	松井哲也ほか1名 武里図書館司書 子育て応援団ゆめ色 更生保護女性会 武里図書館司書 山森澄子、山田優子 公民館職員 公民館職員
6月19日(水)		アコーディオンミニコンサート	鑑賞	3	13	16	
7月17日(水)		絵本の読み聞かせ等	鑑賞	2	8	10	
9月21日(土)		ちびっこ運動会	体験	12	19	31	
10月16日(水)		つくってたのしい!キャンディレイ	体験	6	14	20	
11月20日(水)		絵本の読み聞かせ等	鑑賞	2	2	4	
12月21日(土)		サンタとあそぼう!	体験	20	31	51	
1月15日(水)		ビーズアート	体験	3	8	11	
2月19日(水)		節分イベント	体験	2	10	12	
9回	13時間30分			52	115	167	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する考えや、悩みを持つ保護者が集まり、情報の交換と交流の場となるよう工夫した。 親子で楽しめる企画を実施し、育児の息抜きや、お子さんとの思い出作りの場になるよう努めた。 武里団地地区民生委員・児童民生委員協議会や地域の子育て支援サークルの皆さんに運営の協力をしてもらい、子育ての先輩として参加者の相談にのってもらった。 						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> 開催月により参加者数にばらつきはあったが、年間を通して参加してくれた親子もあった。特に9月、12月の土曜開催は参加者が多かった。 アンケートによると参加者からは毎回「楽しかった」の声が聞かれ、イベント企画には体を動かすレク、歌・手遊び、工作等の希望の声が多かった。 						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> 土曜開催では、企画内容もさることながら、特に父親の参加が多く、今後も子育て世代の参加しやすい日程を考慮することが重要と感じた。 武里南地区公民館は公園と隣接していることから、今後は野外での開催を視野に入れた企画を考案したい。 初参加の方が徐々に増えているが、ホームページや施設への入り口が分かりづらいなどの意見もあり、効果的な広報活動に努めたい。 						

武里南地区 4

事業名 テーマ	第6地域包括支援センター共催事業 ①オレンジカフェ ②介護者交流サロン「福」		対象	一般	定員	①20名 ②定めず	
ねらい	認知症や介護の問題に関して、当事者やその家族、地域の方や専門職が集い、悩みを共有し、自由に話し合える場所を提供することで、地域の連帯感を高めるとともに、悩みなどの解消を目指すことをねらいとする。						
協力機関 及び団体	第6地域包括支援センター (以降、支援センター)	特色 位置づけ	共催事業	SDGs の目 標No	3・4・11		
会場	武里大枝公民館	教材 資料等	開催月により異なる				
実施までの経過	各事業とも実施までに、内容の選定、打合せを支援センターが行い、公民館は広報を行う	PR方法	公民館だより ブログ				
		受付方法	直接または電話で支援センターへ				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月2日(火) 5月14日(火) 6月4日(火) 7月2日(火) 8月6日(火) 9月3日(火) 10月1日(火) 11月12日(火) 12月3日(火) 2月4日(火) 3月4日(火)	いずれも 1部は、 13:00~14:00 2部は、 14:10~15:10	①オレンジカフェ 	交流	3 3 3 4 3 2 3 1 2 4 6	50 38 44 44 39 43 41 46 42 40 41	53 41 47 48 42 45 44 47 44 44 47	支援センター職員
4月25日(木) 5月23日(木) 6月27日(木) 7月25日(木) 8月22日(木) 9月26日(木) 10月24日(木) 11月28日(木) 12月26日(木) 1月30日(木) 2月20日(木) 3月27日(木)	いずれも 13:30~14:30	②介護者交流サロン「福」 	交流	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7 7 7 7 6 8 8 8 9 10 9 9 5	7 7 8 7 6 8 8 10 11 10 10 5	支援センター職員
23回	34時間			39	560	599	
企画運営上の工夫	実質的な運営は支援センターが行い、公民館はそのバックアップを行った。						
成果参加者の声など	・オレンジカフェについては毎回定員を超える申込みがあり需要が高いことが分かる。 ・リピーターが多く、参加者同士が顔見知りになっているため、事業実施日だけでなく、地域における普段の生活においても、悩みごとを相談できるような体制がとれることに期待できる。						
課題と展望	内容の選定や当日の運営などのほとんどを支援センターが行っているため、共催事業として、真に連携した事業展開となるよう検討する必要がある。						

武里南地区 5

事業名 テーマ	生涯学習市民推進員企画事業(1) ①春の散策 ②秋の散策		対象	成人	定員	30名 (武里15名・ 大枝15名)	
ねらい	地域住民が自らの足で歩き郷土を知ること、より一層愛着を持ち、関心を持ってもらう。また、高齢者の多い武里団地近隣住民が外出するきっかけを作り、健康と福祉の向上を目指すとともに、生涯学習の推進を図る。						
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員(以下、推進員) 武里地区公民館	特色 位置づけ	推進員企画 共催事業	SDGs の目 標No	4・11		
会場	①彫刻めぐり、春日部市役所新庁舎 ②道の駅庄和、ハルカイト、キューピー 五霞工場	教材 資料等	①しおり(武里地区作成)、ア ート ウォークパンフレット ②しおり(武里大枝作成)				
実施ま での 経過	①3月5日 第1回打合せ(武里のみ) 3月13日 第2回打合せ(2館合同) 4月10日 コース下見・打合せ 5月11日 受付開始 5月24日 実施	PR方法	公民館だより5・11月号 ブログ ① 				
	②6月26日 第1回打合せ(大枝のみ) 7月24日 第2回打合せ(2館合同) 9月17日 工場見学ネット予約 9月19日 コース下見・打合せ 11月7日 受付開始 11月21日 実施	受付方法	直接または電話で武里地区公民館 もしくは武里大枝公民館へ(先着 順)				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
5月24日(金)	8:45~12:00	①春日部駅東口側の彫 刻散策→教育センター→ 西口側の彫刻散策→市 役所新庁舎説明・見学 ②バスによる散策 道の駅庄和→ハルカイト →キューピー五霞工場	散策 鑑賞 見学	5	14	19	[解説]推進員、 公民館職員、 管財課職員
11月21日(木)	10:00~16:00			4	12	16	[解説]推進員、 ハルカイト職員、 キューピー職員
2回	9時間15分			9	26	35	
企画運営上 の工夫	①市民の関心が高い市役所新庁舎の見学を通して、新たな施設・機能を知っていただくとともに、実際に施設(ひだまりホール)を利用できるよう配慮した。また、雨天の場合でも、参加できるよう、社会教育課の出前講座「スライドによる彫刻めぐり」を行うことで、参加者の満足度向上と、施設の有効活用を図った。 ②市内施設については、8月にオープンした「ハルカイト」の見学を取り入れることで、市の新たな魅力を紹介し、より一層の郷土への理解と愛着を深めるきっかけとした。						
成果 参加者の 声など	①「彫刻は家族ともまた来たい」、「新庁舎の5階は初めて入った。これから用事で来るのが楽しみ」といった声があり、外出するきっかけづくりにつながったことが分かる。 ②バスによる大人の社会科見学は、遠方へ行きづらい高齢者にとって絶好の機会となり、同時に大いに知的好奇心を満たせる場となったためか、アンケートではやや満足以上の回答が100%となり、地域のニーズを満たすことができた。						
課題と展望	①親子連れや若い世代にも参加してもらえるよう、対象を広げたり、土曜日や日曜日の実施を検討する。 ②今後このような企画を望む声が多く、同様の事業を実施する必要がある一方、大変人気が高いため、定員や申込み方法について、さらなる検討を要する。また、工場見学については、団体利用を優先するものではなく、その予約に苦労したため、予約方法についても調査する必要がある。 						

事業名 テーマ	生涯学習市民推進員企画事業(2) ①自分で育てて見るホタルの光 ②日本の夏を想う、みんなで唄う昭和歌謡 ③大枝いきもの広場	対象	①小学1～4年生 ②一般 ③幼児～4年生	定員	①6名 ②50名 ③15名		
ねらい	地域人材のノウハウを活用し、幅広い年齢層の方に様々な手法による事業を展開し、地域住民の情操の純化を図るとともに、地域住民の連帯感を醸成し、延いて生涯学習の推進を図る。						
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員(以降、推進員)	特色 位置づけ	推進員企画	SDGs の目 標No	4・11・15		
会場	武里大枝公民館 ※①は、参加者自宅でも	教材 資料等	説明資料(講師用意)				
実施ま での経 過	各事業とも実施までに、 推進員折衝、打合せ、 広報を行う 	PR方法	公民館だより6・8・9月号 ポスター・チラシ SNS等(LINE・メール・ブログ)				
		受付方法	直接または電話で武里大枝公民館 へ(先着順)				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計		合計
6月9日(日)	10:00～10:30	①ホタルの一生などの説明・幼虫等お渡し→幼虫を上陸セットへ→成虫となったホタルの観賞会	講義 飼育 観賞	10	6	16	推進員 山田 農久 (元小学校教員、 ホタルを育てる会所属)
6月15日(土)	10:00～10:30			12	9	21	
6月28日(金)	18:30～19:15			13	10	23	
8月28日(水)	14:00～15:30	②昭和の名曲を、会場の全員で唄う	歌唱	13	34	47	推進員 佐野 哲郎 (ないすはっつメンバー)
9月7日(土)	10:00～11:30	③生き物が登場するお話「やまなし」の紙芝居を聞いた後、実際に生き物を観察する	観察	2	0	2	推進員 山田 農久 
3回	4時間45分			50	59	109	
企画運営上 の工夫	推進員(武里南地区)の協力で地域人材のノウハウを活かして実施した。 ①地域全体で事業を実施しているような一体感を創出するため、上陸セットは公民館に設置し自由に観察できるようにし、世代間交流を図った。 ②4月に武里南地区公民館で実施した同様の事業が好評であり、また、再度の実施を望む声が多かったことから、会場を武里大枝市民センターに変更して実施した。 ③蛍の飼育イベントが好評であり、同様のイベントの実施を望む声が多かったことから、同講師のシリーズ第2弾として実施した。また、学校の授業のように、国語・生活・理科の視点で内容を構成し、子どもの生活に密着した内容で、多角的に学びを深められるような工夫をした。						
成果 参加者の 声など	①ホタルが部屋の中を飛んだ際には歓声が上がり、参加者同士の交流も見られ、ねらいを十分に達成できたと考える。 ②「夏の終わりの楽しい思い出になりました」、「昔を思い出して大声で歌えた」などの好意的な声が多く挙がった。 ③推進員の手作りの教材が、とても好評であった。 						
課題と展望	①定員を大幅に超える申込みがあったため、来年度の実施に向けて、定員の拡充などの検討を行う必要がある。 ②「声をそろえて歌えることが最高に気晴らしになった」との声からわかるように、聞くだけでなく、参加者全員で歌うことのできる事業を積極的に実施していきたい。 ③生き物の生態と事業の開催時期のズレが、参加者が少数であった要因と思われる。今後は早期段階での計画を必要とする。						

武里南地区 7

事業名 テーマ	青少年健全育成事業 ①CDで遊ぼう！ ②なろうぜ！手品マスター♠		対象	①小学1～6年生 ②小学3～6年生	定員	①25名 ②12名	
ねらい	科学などの身の回りの不思議体験・体感を通して、子どもたちの好奇心や情緒、感性を養うとともに、同世代の交流を深め、公民館事業への関心を高める機会とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No	4・11		
会場	①武里大枝公民館 講堂 ②武里大枝公民館 研修室		教材 資料等	①資料・教材(講師用意) ②トランプ(参加者用意)			
実施ま での経 過	①5月29日 講師依頼・打合せ 7月19日 受付開始 8月2日 実施		PR方法	公民館だより7・8月号 ポスター・チラシ SNS等(LINE・メール・ブログ)			
	②6月7日 打合せ 8月10日 受付開始 8月24日 実施		受付方法	直接または電話で武里大枝公民館 へ(先着順)			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
8月2日(金)	10:00～12:00	①科学教室 CDを使ったコマと 風船ホバー作り	体験	2	6	8	おもしろ彩エンスクラブ 小林 久美恵 小林 陸夫
8月24日(土)	10:00～11:30	②マジックの披露の後、 簡単な手品の指導	鑑賞 体験	2	1	3	公民館職員
2回	3時間30分			4	7	11	
企画運営上 の工夫	<p>開催日を夏休み中に設定することで、自由研究などの題材となることを期待するとともに、夏休み中の自主的な学びをサポートする。</p> <p>①男子、女子のどちらも興味を持てるよう、講師と打合せを重ね、CDという身近なものを材料とし、知的好奇心を刺激するようなテーマを選定した。</p> <p>②子どもたちの好奇心に応えるため手品を楽しんだ後は、実際に自分で手品を体験し楽しむことのできる体験型を取り入れた。</p>						
成果 参加者の 声など	<p>①「コマ、風船ホバーどちらも楽しかった」、「自分で作ることができて楽しかった」、「このようなイベントをまたやりたい」などの声が挙がった。</p> <p>②自ら練習をし手品を成功させた子どもたちは、楽しさと充実感を味わっており、「楽しかった。友達に見せて自慢したい」などの感想があった。</p>						
課題と展望	<p>①保護者や講師に質問したり、補助してもらいながら懸命に制作し、完成したコマや風船ホバーを競わせたりするなど、参加者同士の交流を深めることができた。</p> <p>②参加人数が予定した人数に達さなかったため、保護者も参加できる親子手品教室など、開催方法や内容について検討を要する。</p>						

事業名 テーマ	外国人による日本語スピーチ発表会in 武里		対象	一般	定員	150名	
ねらい	武里団地近隣在住の外国人を中心に、日本について日頃感じていることや日本の好き なところなど、多彩なテーマを日本語でスピーチすることで、異文化理解や国際交流の きっかけを作る。						
協力機関 及び団体	武里日本語教室	特色 位置づけ	共催事業	SDGs の目 標No	4・10・11		
会場	武里大枝公民館 講堂		教材 資料等	プログラム(教室作成)			
実施まで の経過	5月中旬 打合せ 以降、随時打合せ 6月下旬～ 発表者 7月21日 募集期間 9月8日 実施		PR方法	公民館だより8月号 ポスター(教室作成) ブログ			
			受付方法	発表者:教室が募集し、教室に事 前申込み 聴衆:当日自由参加			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女		合計
9月8日(日)	14:00～16:00	外国人による日本語ス ピーチ発表会 ※順位付けは行わない	発表 鑑賞	26	37	63	発表者 子ども5名、大人10名
							
1回	2時間			26	37	63	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 武里団地には多くの外国人が居住しているため、その特性を利用し、国際交流を図る事業として実施した。 市民団体育成の観点から、スピーチを行う外国人の募集・選考、プログラム等の資料作成、当日の準備や会場設営、司会進行など運営は主に武里日本語教室が行い、公民館はその自主性をバックアップした。 						
成果 参加者の 声など	<ul style="list-style-type: none"> 発表者は子ども5名、大人10名で6カ国の出身からあり、聴衆には発表者の知り合いをはじめ、地区内の住人多数の参加があった。 「どの発表も大変すばらしかったです」「来日して間もない人達が、一生懸命日本語で話していて、努力しているのが分かりました」などの好意的な声が寄せられた。 「発表者の姿勢を拝見し、受身な気持ちでなく自ら異文化に触れていきたいと思った」との声があり、多様性を受け入れるあたたかい地域交流となったようだ。 						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> 武里団地内には多くの外国人が居住しており、さらなる交流を図るため、今後も開催していきたい。 一方で、「スピーチ後に、簡単なゲームやパーティなどがあると、知り合いも増えて楽しいと思う」といった意見もあり、真に異文化交流となるための仕掛けを構築していく必要があると感じた。 「衣・食・住」の各テーマに絞って事業を展開していくなど、武里日本語教室との打合せを密にし、企画していきたい。 						

武里南地区 9

事業名 テーマ	レクリエーション・スポーツ教室 「パドル×踊る×金メダル」		対象	一般	定員	30名	
ねらい	高齢化が進む武里団地の住民を中心に、体を動かすことで健康の維持増進を図り、併せてふれあいの場を提供する。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11・17		
会場	武里大枝公民館 講堂		教材 資料等	パドル(講師用意)			
実施ま での経 過	5月中旬	講師折衝	PR方法	公民館だより9月号 ポスター・チラシ SNS等(メール・ブログ)			
	8月中旬 9月6日 9月20日	以後メールにて打合せ 講師依頼 受付開始 実施					受付方法
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回 数	総時間数			計	計		
9月20日(金)	10:00~11:30	「パドル」を使った体操 	体験	1	15	16	NPO法人パドル ジャークス体操協会 及川 優子
1回	1時間30分			1	15	16	
企画運営 上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、老若男女問わず、誰でも簡単にできるスポーツとして企画した。 ・頭も身体もリフレッシュし、脳トレにもなる体操を、若年層から高齢者まで、楽しめるようゲーム感覚で進めた。 ・定期的な運動習慣となるよう、サークル化を目指して実施した。 						
成 果 参加者の 声など	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多い中、講師の指導のもと、リズムに乗って体をほぐしてくことで、どの参加者も無理なく体操ができたようで、「とても楽しく、気持ちよく運動ができた」との声が多くあった。 ・二人組になったり、輪になったりと他者と交流する場面もあり、笑い合って楽しく体操ができたようだ。 						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・募集開始直後には手応えがなかったが、当日参加の方もいた。パドルという聞きなれない体操だが、やっていくうちに楽しさが理解されたようで、より伝わるための周知の方法に工夫が必要と思われる。 ・「また企画してほしい」「このパドル体操が続くといい」という声もあり、定期開催を検討するとともに、サークル化への支援策について模索していきたい。 						

事業名 テーマ	第56回 武里団地地区体育祭		対象	地域住民		定員	競技により異なる	
ねらい	健康の維持・増進と体力の向上を図るとともに、地域住民の交流と親睦を深める機会づくりとする。							
協力機関 及び団体	武里団地地区自治会協議会 5街区町会 主管:武里団地地区体育祭実行委員会		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	3・11	
会場	武里南小学校 校庭		教材 資料等	プログラム				
実施まで の経過	7月26日 第1回会議 9月12日 第2回会議 10月12日 前日準備 10月13日 実施 " 第3回会議(反省会)		PR方法	公民館だより9・10月号 プログラム ブログ				
			受付方法	地区代表種目:事前募集 自由参加種目:当日自由参加				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
10月13日(日)	9:15~11:30	 地区代表(2種目) 地区別バトンつなぎ チームで玉入れ 自由参加(5種目) おたまレース 宝さがしレース パン取りレース 50メートル競走 ○×ゲーム  	競技	90	100	190		
1回	2時間15分				90	100	190	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> まずは地域住民が気軽に参加できるようにするとともに、団地内の高齢化を鑑み、テントや入退場門を設置しないなど、事前準備や当日の運営等の負担を減らし実施した。 闘争心をあおり地区の団結力を生むことを期待する「玉入れ」、子どもも大人も役員も真剣に勝負できる種目として「50メートル競走」、公民館企画として、役員を含む参加者全員が学びながら楽しむことができるものとして「○×ゲーム」と、昨年より3種目増やして実施した。 地区別バトンつなぎは順位をつけずに競技を行い、地区の団結力をより向上させるとともに、年齢等を問わず誰もが楽しめるようにした。 							
成果 参加者の 声など	<ul style="list-style-type: none"> 春日部南中学校の放送委員の中学生に、当日のアナウンスを依頼したところ、当事者だけでなく参加者からも、良かったとの声があった。 競技賞品について、防災や備蓄をテーマとして選定したところ、欲しいものがあまりなかったとの意見があった一方、防災の意識付けの意味でも大変良かったとの声もいただいた。 各競技への参加人数などを考慮すると、延べ590人が参加した。 							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> 防災などのクイズによる○×ゲームは、好評をいただいたが、解説が長かったとの意見もあった。参加者の年齢層を鑑み、問題数等について検討する。 係ごとの連携がうまくいっておらず、間延びしてしまう時間が多かったため、係にリーダーを設け、指示系統を確立させるなどの対策を行う。 							

武里南地区 11

事業名 テーマ	教養講座 ①けん玉で世代交流 ②かすかべを学ぶ 大枝ふるさと塾 ③シニアのための「スマホ相談会」		対象	①小学生と大人 ②一般 ③スマホをお持ちのおおむね60歳以上	定員	①各10名 ②50名 ③各回20名	
ねらい	日本の文化や地元の歴史に関する講座のほか、DXの推進を踏まえたスマホ講座などニーズを的確にとらえて実施することで、知的好奇心を刺激し、外出するきっかけをつくるとともに、様々なことに関心を持ち教養を深められる場を提供する。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	3・4・10・ 11・17		
会場	①③武里南地区公民館 大会議室 ②武里大枝公民館 研修室		教材 資料等	①けん玉(講師用意) ②レジュメ(講師作成) ③レジュメ(講師作成)、スマホ			
実施までの経過	各事業とも実施までに、 出演者折衝、 打合せ、 広報を行う		PR方法	公民館だより4・8・11月号 ポスター・チラシ SNS等(ブログ・②はメールも)			
			受付方法	直接または電話で会場となる公民館へ(先着順)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月28日(日)	10:00~11:30	①模範演技の披露・体験指導	実技	10	16	26	けん玉サークル4名 うち公民館職員1名
8月17日(土)	10:00~11:30	②企画展の開催期間にあわせ、展示内容の説明を中心とした講義	講義	6	11	17	郷土資料館学芸員 鬼塚 知典
11月24日(日)	10:00~11:30	③全体説明の後、参加者の個別の疑問に対応する	講義	3	15	18	埼玉県立大学
	13:00~14:30		実技	1	16	17	やどり木 SPU binders
4回	6時間			20	58	78	
企画運営上の工夫	①公民館事業を通じて、接することの少ない高齢者と小学生の交流機会を創出した。 ②講座後にも参加者が郷土資料館に行くことで、理解を深められるようにし、自主的な学習を促した。 ③参加者2~3名に講師が1名つく体制をとり、ニーズにきめ細かく応えらるとともに、参加者は自分のスマホを持参し日頃使っている機種を使うことで、より一層の理解を促した。 						
成果 参加者の声など	①「全身を使うので良い運動になった。手先が器用になり、脳トレにも良いです」 「外国の子どもたちと一緒に遊ぶという、貴重な経験をすることが出来ました」 ②どの参加者も熱心に耳を傾け、「春日部の遺跡をほとんど知らなかったので、わかりやすく説明してくれてよかった。」「時代が古くなればなる程、人の知恵に頼り文化が創造されていたことに感銘しています。」など好意的な声が多く挙がった。 ③「一人ひとりの悩みに対処する方法は賛成」との声があり、地域の課題に寄り添いながら解決することができたと考え。						
課題と展望	①懐かしい郷愁に浸りながら、運動・脳トレになるというねらいを達成できたと同時に、外国の子どもたちには、日本の伝統文化に触れる機会を与えることができた。 ②毎年恒例の講座ということもあり、常連の参加がある一方、土曜日開催としSNSの配信もしたが、50代以下の参加がなかった。 ③午前と午後2部制としたが、どちらもすぐに定員に達した。(当日は体調不良等で数名減少)。満足度・ニーズともに大変高かったため、継続的な実施を検討する。 						

事業名 テーマ	武里図書館共催事業 ①知的書評合戦 ビブリオバトル ②クリスマスおはなし会 ③たけさと寄席		対象	①・③一般 ②3歳からのお子さん と保護者	定員	①バトラー5名、観覧者15名 ②15名 ③100名	
ねらい	図書館が併設されている特色を生かし、図書館と公民館双方の利用者の交流を促し、社会教育施設としての幅を広げるとともに、図書とのふれあいを通し若い世代が中心となった事業を展開することで、地域住民の情操の純化を図る。						
協力機関 及び団体	武里図書館	特色 位置づけ	共催事業	SDGs の目 標No	4・11		
会場	武里大枝公民館		教材 資料等	必要に応じて武里図書館で用意			
実施までの 経過	6月～12月 随時打合せ 11月10日 ①実施 12月21日 ②実施 2月8日 ③実施		PR方法	公民館だより10・11・12・1月号 ポスター・チラシ・ブログ 武里図書館だより			
			受付方法	直接または電話で武里図書館へ ③は事前に入場整理券を配付 (いずれも先着順)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
11月10日(日)	14:00～15:30	ビブリオバトル →バトラーがお気に入りの一冊を 紹介し、観覧者は一番読みたいと 思った本に投票。	紹介 鑑賞	4	12	16	バトラー 5名
12月21日(土)	15:00～15:40	クリスマスおはなし会 →クリスマスにまつわる絵本の読 み聞かせ等。途中、サンタからの プレゼントもあり。	鑑賞	5	12	17	武里図書館司書 サンタ:公民館職員
2月8日(土)	14:00～16:00	たけさと寄席 演目:落語、紙切り、マジック	鑑賞	34	70	104	演者:桂 南馬 林家 八楽 ほか(計5名)
3回	4時間10分			43	94	137	
企画運営上 の工夫	①図書館は、近隣中学校とのつながりを密にすることで、バトラー参加者を確保し、公民館は、ポスター掲示などを通して観覧者の確保に努めたほか、昨年のアンケートより、「声がよく聞こえなかった」との声をうけ、当日の司会を行うとともに、音響操作に協力した。 ②クリスマスにちなんだ大型絵本や、年齢にあった手遊びなどのバラエティに富んだ内容とするとともに、時節を捉え、サンタ登場の演出などの工夫をした。 ③地域ニーズの高い「寄席」の企画について、予算の上で単独では難しい演者との出演交渉を、図書館との共催とすることで開催を実現した。						
成果 参加者の 声など	①幅広い年齢層のバトラーの参加により、本のジャンルも偏らず、公平で多様性に富んだ発表会となった。 ②読み聞かせと人形劇には、子どもだけでなく、保護者も真剣に聞き入っており、クイズも大変盛り上がった。サンタからのプレゼントも喜ばれ、満足度は高かったようである。 ③「プロとアマが一緒の寄席は公民館ならでは」、「他の寄席にも行ってみたい」、「すばらしい芸の数々ありがとうございました」などの声が多く、寄席への関心が深まったようだ。			 ①  ②			
課題と展望	①一人2冊紹介するなど、実施方法を工夫する必要がある。 ②事前申込みの時点では、申込み者数が少なかったため、広報の手法や周知先に工夫が必要と感じた。 ③アンケートから「今日の出演者を育てるように、シリーズ化して開催してほしい」との意見があり、継続的な開催について武里図書館との検討を要する。			 ③			

事業名 テーマ	クラブ・サークル連絡会		対象	公民館利用者等	定員	定めず	
ねらい	普段、公民館を利用している団体のほか、これから公民館を利用したいと考えている団体が、公民館の適正な利用と運営について考えるとともに、利用者と公民館の連絡及び利用者相互の交流を図る機会とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	人権教育研修会 と同時開催	SDGs の目 標No	4・11		
会場	武里大枝公民館 講堂		教材 資料等	公民館作成資料			
実施ま での経 過	11月中旬 団体へ案内を配付		PR方法	公民館だより1月号 ブログ 団体への案内			
	1月25日 実施		受付方法	当日受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月25日(土)	10:20~10:35	そもそも公民館って…?	説明 " 訓練	16	40	56	公民館職員
	10:40~11:00	公民館の利用方法等					
	11:00~11:30	自衛消防訓練					
1回	1時間10分			16	40	56	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館だよりに掲載するだけでなく、利用団体に直接案内することで、参加者の確保に努めた。 ・一定の参加者数を見込めることから、人権教育研修会を同時開催し、地域の方に知っていただきたい社会教育活動について、周知する機会とした。 ・災害等の発生時に、公民館側と利用者側が一体となり冷静かつ迅速に避難できるよう、自衛消防訓練も同時に実施した。 						
成果 参加者の 声など	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館や社会教育についての説明は、初開催ながら参加者から「勉強になった」、「資料がためになる」と好評だった。 ・同時に実施した自衛消防訓練にも積極的な参加があり、避難経路を再確認するとともに、危機管理意識を高める機会と訓練となった。 						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から市民センター化したことに伴い、改めて公民館の役割や使用方法を確認してもらう必要があるため、継続的な開催を検討する。 ・一度も参加したことのない団体もあり、公民館の貸館を含め存在意義を理解してもらえよう、利用団体へ積極的に呼びかけていきたい。 ・内容が多岐に渡ったため、「少し忙しかった」といった声があったため、その事業内容について、検討を要する。 						

事業名 テーマ	人権教育研修会		対象	公民館利用者等	定員	定めず	
ねらい	差別や偏見のない豊かな人間関係を構築し、人権問題について認識を深められる場を提供するとともに、あらゆる人権侵害問題を多様にとらえ、その早期解決を図り、明るいまちづくりを推進する。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	クラブ・サークル 連絡会との同時 開催	SDGs の目 標No	4・10・11		
会場	武里大枝公民館 講堂		教材 資料等	人権啓発DVD「スマイリーキクチと 考えるインターネットの正しい使い方」			
実施まで の経過	11月中旬 DVD選定・予約		PR方法	公民館だより1月号 ブログ 団体への案内			
	1月25日 実施		受付方法	当日受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月25日(土)	10:00~10:20	インターネット上における 誹謗・中傷等の人権侵害 に関するDVDの視聴 上映時間:約16分	視聴	16	40	56	
1回	20分			16	40	56	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館だよりに掲載するだけでなく、利用団体に直接案内することで、参加者の確保に努めた。 ・一定の参加者数を見込むため、クラブ・サークル連絡会と同時開催し、公民館の役割についての説明とあわせ、地域の方に知っていただきたい社会教育活動について、周知する機会とした。 ・未だなくならないインターネット上の人権侵害について、自身だけでなくその子や孫に対し家庭で啓発ができるよう、体験談などを交え分かりやすく紹介するDVDを選定した。 						
成果 参加者の 声など	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブサークル連絡会と同時開催にしたことで、一定の参加者を確保でき、必要課題の学習機会を提供することができた。 ・DVDの内容が、体験談に基づく、より身近なネット社会の問題であったことから、約8割の方から満足との回答を得られ、「自分が加害者にならないことが大切だと痛感した」との声があり、理解が深まったようである。 ・一方で「もう少し時間が欲しかった」との声があり、より関心を高めるための工夫が必要とを感じる。 						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・人権のテーマは幅が広いが、より関心を持ってもらうためにも地域に根ざした内容に着眼したい。 ・官学連携し、多種多様な人との異世代交流、異文化交流を促すことを一案としたい。 						



事業名 テーマ	高齢者安心安全教室 元気は足腰から！ながら体操で転倒防止！		対象	高齢者	定員	100名	
ねらい	団地支部社協が開催するお茶のみ会と合同により実施し、特に高齢者が安心安全に生活するための基礎知識を身につける場を提供する。安心と安全を多角的に捉え、高齢者の基礎的な体力づくりを目的として軽体操を実施する。						
協力機関 及び団体	社会福祉協議会武里団地支部 福祉ニーズ対策委員会 スポーツ推進課		特色 位置づけ	「お茶のみ会」と 共催	SDGs の目 標No	4・11	
会場	武里大枝公民館 講堂		教材 資料等				
実施ま での経 過	12月中随時 講師調整 2月1日 講師打合せ 2月16日 実施		PR方法	公民館だより2月号 ブログ			
			受付方法	直接または電話で武里大枝公民館 へ(先着順)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
2月16日(日)	10:00~11:30	立位と座位の両方で手軽 にできる体操やストレッチ を行う	体験	6	70	76	春日部市スポーツ 推進委員(2名)
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会武里団地支部と福祉ニーズ対策委員会が隔月で行っている「お茶のみ会」と共催することにより、多くの地域住民が参加できるようにした。 ・階段による移動の多い団地に住む高齢者の転倒による怪我を防ぐため、基礎的な体力づくりを目的として軽体操を実施した。 ・スポーツ推進課と連携し、春日部市スポーツ推進委員に講師を依頼することで、社会教育行政が共同で事業を実施するとともに、市内の人材活用を図った。 						
成果 参加者の 声など	参加者から「身体を動かす良い機会となった」、「今回やった体操を家でもやりたい」、「健康にいいので来年もやってほしい」などの声をいただいた。						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も他課と連携した市内の人材活用等も取り入れて、高齢者が安心安全に暮らしていくことができるよう、興味・関心の高いニーズの把握に努める。 ・一定の参加者数を確保できることから、今後も「お茶のみ会」との共催での実施を検討する。 						



事業名 テーマ	けやきフェスティバル	対象	一般	定員	企画により異なる		
ねらい	人と地域の連携を強化し、より強固なコミュニティを形成することで、地域力を向上させることを主な目的として実施する。						
協力機関及び団体	URコミュニティ・春日部警察署・武里団地区自治会協議会・地域活動支援センター・バタバタ・武里図書館・観光振興課(かすかべフードセレクション)・スポーツ推進課(ふじたこくん)・ボランティア(公募)	特色 位置づけ	新規事業	SDGsの目標No	4・11・17		
会場	武里大枝公民館	教材資料等	発表・体験・イベント部門:出演者等作成のレジュメ				
実施までの経過	12月4日 参加団体募集開始 12月12日 ボランティア募集開始以降、参加団体・協力団体と随時打合せ・手続き	PR方法	公民館だより1・2・3月号 ポスター・チラシ(UR掲示板にも) ブログ				
	3月14日 前日準備 3月15日 実施 3月16日	受付方法	発表・展示・販売は自由 体験・イベントは当日受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名氏名	
回数	総時間数			男 計	女 計		合計
3月15日(土) 3月16日(日)	10:00~16:00 10:00~16:00	発表9団体 展示1団体(あわせて個人の芸術家3名) 体験1団体 販売6団体 イベント等7団体(オレンジカフェ・託児等・体操・科学教室・朗読会ほか)	発表	90	210	300	イベント等講師↓ 第6地域包括支援センター YYくらぶ 子育て応援団ゆめ色 パドルジャークス体操協会 おもしろ彩エンスクラブ 朗読ボランティア桐の葉
 けやきの木を飾ろう	 舞台発表		展示 鑑賞 体験 販売	60	140	200	
1回	12時間			150	350	500	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> サークルの高齢化による担い手の減少等の理由により、実行委員会方式による実施が困難となり中止となった文化祭に代わる事業として新たに実施した。 運営は、近隣の学生や生徒からボランティアを募り地域の力を最大限に活用した。 サークルによる発表だけでなく、地域に潜在する団体等を発掘し、地域住民が、より深く地域を知り、愛着が持てるよう工夫した。 						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> 軽食の提供やストリートピアノ、すぐろくやゆるキャラ(ふじたこくん)、抽選会などの目新しい企画を取り入れることで、これまで公民館に興味がなかった人(特に子供を含む若い世代)も足を運べるように配慮して実施した。 アンケートでは「武里団地文化祭がとだえてしまっていたが、開放的で会場に入りやすい雰囲気であった。是非続けてほしい」、「来場者が満足そうにしているだけでなく、出演者もいきいきして地域活性化にとてもよいと思う」、「盛りだくさんのイベントをとおして、公民館と地域社会の連携を感じました」などの好評の声が多かった。 						
課題と展望	当日は、参加団体により構成する実行委員会方式ではなく、職員やボランティアによる運営を行っているため、スタッフの確保や、実行委員会方式への転換などについて検討する必要がある。						

事業名 テーマ	公民館だより「けやき」発行		対象	地区住民	定員	-
ねらい	公民館事業のPRや報告、地区内社会教育団体の活動PR及び地域情報を武里南地区内の住民に提供する。					
協力機関 及び団体			特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11
会場			教材 資料等			
実施まで の経過	発行月前月上旬	原稿調整	PR方法	受付方法	掲載依頼記事は発行月前月の10日まで	
	〃 中旬	編集・校正				
	〃 下旬	印刷				
	〃 月末	発行・配布				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	
4月～3月 年12回発行		A4両面(A3の場合もあり) 約6,400部発行				
						
12回						
企画運営上 の工夫	公民館事業やサークル活動の紹介などの情報を、わかりやすく伝えると共に、公民館活動への興味・関心を深めてもらえるような魅力ある紙面づくりに努めた。					
成果 参加者の 声など	公民館事業参加者へのアンケート結果によると、公民館だよりを見て情報を得たという回答が多く、事業実施のうえで重要な広報手段となっている。					
課題と展望	事業案内など積極的に情報提供を行いながら、魅力ある紙面づくりに努めたい。					

【防災・防犯の拠点に関する事業(地区センター事業)】 武里南地区 18

事業名	防災をかんがえる ～大切なものを守るためにできること～ ①講義形式 ②避難所開設訓練		対象	地域関係者・ 団体・一般	定員	一般 ①10名程度 ②50名程度	
ねらい	令和6年4月より公民館に加わった地区センターの機能のひとつとして「防災・防犯の拠点としての機能」があることを契機として、地域と行政が一体となるとともに、地域自らが主体となり、確実に迅速な対応が図れるよう、避難所運営訓練を通して地域力を高めるために実施するものである。						
協力機関及び団体	武里団地地区自治会協議会・5街区町会・ URコミュニティ・第6地域包括支援センター・ 武里図書館・地域づくり推進会議委員		特色 位置づけ	新規事業	SDGs の目 標No	4・11・17	
会場	①武里大枝公民館 研修室 ②武里大枝公民館 講堂		教材 資料等	①講師作成資料・ハザードマップ ②段ボールベッドなどの避難物資			
実施までの経過	10月中旬 講師折衝 11月中旬 打合せ・内容の決定 11月13日 地域関係者・団体へ案内① 12月18日 実施① 12月26日 地域関係者・団体へ案内② 1月17日 実施②		PR方法	公民館だより11・12月号 ブログ			
			受付方法	直接または電話で武里大枝公民館 へ(先着順)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
12月18日(水)	10:00～11:30	①ハザードマップから見る武里団地地区の状況、 国や市の防災対策の取り 組み、能登半島地震の現 状など ②12/18の内容の復習、 避難者スペースの確保、 避難者の受付方法の確 認、段ボールベッドや仮 設トイレ、居住スペースの 設営など	講義 講義 実技 体験	14	14	28	危機管理防災課職員 
1月17日(金)	10:00～11:30			18	19	37	
2回	3時間			32	33	65	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目は必要な情報についての講義を中心とし、防災や避難所の運営についての理解をより深められるようにした。 ・地域と行政が同じ方向を向き、一体となった対応が図れるようにするため、2回目は、1回目の内容を踏まえた上で、実践的な避難所運営訓練を行った。 ・地域関係者および団体に広く声をかけるとともに、一般の参加者も募ることで、災害に対し、真に地域全体で立ち向かえるように配慮した。 ・危機管理防災課との打合せを密にし、防災における武里南(団地)地区の課題やニーズを的確にとらえられるようにした。 						
成果参加者の声など	アンケートでは「地域の方と一緒に悩みながら体験できたのが良かった」、「実際にやってみることで課題となることが見えてきた」、「当日の混乱が身にしみて理解でき、心構えができた」といった声が挙がり、防災に対する地域力の向上というねらいを十分に達成できたと考える。						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・「受付の流れをイラストして掲示した方が良い」や「受付書類に、必要となる順番どおりにナンバリングしておけば誰でも正確に受付業務ができると思う」といったように具体的な改善案も多く挙がったため、これを実際の避難所開設の際に活かせるよう、危機管理防災課との連携を図っていく。 ・災害などに地域全体で立ち向かっていく術と連帯力を醸成していくため、地縁団体等との連携をより密にし、継続的に実施していく必要がある。 						